

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		商店街個店魅力向上支援					所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	165	計画事業名	商店街個店魅力向上支援			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現					[事業開始] 平成30年度			
		[施策] 36 商店街振興による魅力ある地域づくりの推進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕 なし							
	事業対象	直接の対象 : 台東区商店街の届出に関する取扱要領に定める商店街名簿に登録された近隣型商店街 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	商店街を構成する個店の魅力を向上し、またその情報を効果的に発信することにより、商店街の活性化を図る。								
	事業内容 [H30年度]	①自慢の逸品紹介冊子発信事業 …商店街に加盟する個店の逸品・サービスをPRする冊子を作成・配布 ②得するまちのゼミナル支援事業 …商店主が講師となり、専門的内容を店舗で顧客に講義するイベント(まちゼミ)の支援								
委託の有無	全部委託	委託内容			自慢の逸品紹介冊子作成及びまちゼミ実施支援					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	商店街個店魅力向上支援	件	2	-	-	2	2	100.0%	
	成果指標	自慢の逸品紹介冊子配布数	部	11,000	-	-	11,000	11,000	100.0%	
		まちゼミ参加者数	人	160	-	-	140	100	140.0%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)							4,550	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)							2,645	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)							4,053	
		総経費							497	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)							7,195		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)							0		
	一般財源(区負担額)							0		
課題及び今後の進め方	まちゼミ事業は開始初年度ということで、参加を見送った店舗もあった。多くの店舗が参加することで効果が大きくなる事業であることからPR方法を工夫する。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	近隣型商店街の再生に向けては、他にない逸品があることや、こだわりのある店主がいること等の強い魅力ある個店が存在することが重要である。本事業は商店街の核となりうる個店の魅力向上を図ることで、商店街全体に波及を促す事業となるため必要性は高い。							
	効率性	3	対象を近隣型商店街に限定することで、集中的に支援を図ることができた。また、近隣の集合住宅へのポスティングを行ったことで、近隣型商店街の顧客層である近隣住民に対し、個店と商店街の魅力を効果的にPRすることができた。							
	手段の適切性	3	個店や商店街の魅力を冊子とイベントの両面から発信することで、近隣住民による商店街の利用促進を図ることができた。							
	目的達成度	4	目標値を達成しており、商店街の魅力向上及び集客向上に寄与している。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
商店街を構成する個店の魅力を向上し、またその情報を効果的に発信することにより、商店街の認知度を上げ、活性化を図ることができた。個店の魅力向上は、商店街全体の魅力の向上に繋がることから、今後も個店及び商店街と連携を取りながら事業を継続していく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		